

か け は し

2024
第20号

3月

栄西・栄東・丘珠地区版

東区くらしのサポーター養成講座 ～実践しっかりコース～ 開催!

令和6年3月6日(水)、7日(木)の2日間にわたり、東区民センター大ホールで「東区くらしのサポーター養成講座～実践しっかりコース～」を開催しました。2日間で延べ32名の方にご参加いただきました。

※「東区くらしのサポーター」とは、札幌市東区において、日常生活のちょっとした困りごとを手助けしてくれる方、地域づくりを一緒に進めてくれる方です。

演習として、車いすの使い方・介助方法、手話体験を通して「支え合い活動」について学びを深めました。

参加者の皆さんからは「車いすに触る機会はないから貴重な機会だった」というお声や、「聴覚障がいの方が町内にいたらどう見守れるだろうか」など、くらしのサポーターならではのお声もありました。また、「昨年参加して良かったから今年も参加できてよかった!」「またこのような機会がほしい!」と嬉しいお声もいただきました。



車いす体験

令和5年度は、北光・元町・栄東地区で「入門きっかけコース」を実施しました。実践しっかりコースは、そのステップアップとして学びを深める場です。令和4年度とあわせ、受講者は延べ120名になりました。



近年、少子高齢化が進み独居高齢者の増加や子育ての問題など、地域の福祉ニーズは多様化しています。「支えつつ支えられる地域」を目指して、地域における住民主体の助け合いを進めていきたいと思えます。くらしのサポーターとして活動することは、ご自身の健康や社会参加にもつながります!

みなさんのご活躍が楽しみです。



手話体験





支えつつ支えられる地域づくりを目指して（丘珠地区）

令和6年3月8日（土）、「北丘珠で語ってみない会」を丘珠新栄団地町内会館にて開催し4つの町内会の方が集まって地域に対するそれぞれの想いを語り合いました。

「住み慣れた地域で安心安全に暮らし続けるには」を大きなテーマとしてご近所さん同士がざっくばらんにわいわいがやがやと話し合う場を「語ってみない会」とし、丘珠地区での開催は今回で3回目となりました。現在の地域の様子や課題、困りごとなどに対して参加者同士で共有し、5年10年後を見据えてこれからのことを考えていくきっかけにもなっています。

「人の集まり、交流、出会いの場が少ない」という現状から、赤ちょうちんのような場があったらいいなあという声があがりました。

気軽に集まり交流できる場が出来ることで、住民同士のつながりや関係がさらに深まると期待できます。あったらいいな、を形にしていくために、まずは自分たちで負担無く出来る方法を継続して考えていくことになりました。



栄西地区の取り組みを紹介します



「スコップタッチ」



栄西地区の北栄中央第一町内会で行われている小さな支え合いは「ゴミステーション周辺の除雪」。1週間交代で次の方にスコップを受け渡していくため「スコップタッチ」と呼び今シーズンから始まりました。

「自分が使うゴミステーションなのに誰かがやるだろうと知らないふりや、除雪する人が限定してしまうとその方の負担が大きい」と感じていた発案者が、雪が降る前にチラシを作成し同じゴミステーションを利用する10数世帯の方に呼びかけました。戸建ての方、アパートの方それぞれが快く受け入れ最初のスコップが周り始めました。自分が担当するのはたった1週間。しかも降った時だけ除雪するという方法はハードルが低かったとのこと。また、翌週に次の方へスコップを渡す際はご近所同士の声かけや見守り、情報共有や情報提供の場にもつながったそうです。

毎年の雪の課題をお互い様の気持ちで解決する方法を発案し、協力して行うこの支え合いは、新しいつながり、関係性を深めるきっかけにもなりました。

広がれ！スコップタッチの輪！！



発行・お問い合わせ先

東区社会福祉協議会

電話 011-741-6440

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目1-1 東区民センター1階

第2層生活支援コーディネーター

熊谷（栄西、栄東、丘珠地区担当）

